

# CD90 Sステージ 126cc SCUT 取扱説明書

ノーマルシリンダーヘッドを使用したままで126ccにボアアップが出来、HEAVYなエンジンフィーリングが体験出来るキットをリリース。楽しみながらエンジン構造の勉強が出来るキットに仕上げました。

商品番号 : 01 05 0059  
適合車種およびフレーム番号  
CD90: HA03 1100005~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ～特徴～

ノーマルクランクシャフトやクランクケースの加工をせず、限界を超えたボアアップを可能とする特許構造SCUT。シリンダーにはオイルジェットを設け、ピストン、コンロッドの潤滑や冷却を行います。

### ▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

当製品はノーマルに比べ、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

### ▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずCR8HSA(NGK)または、U24FSR-U(DENSO)に交換し、スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

### ▲ 音鳴りについてのご注意 ▲

当製品を取り付けると、シリンダー部からの作動音が大きく感じる場合があります。

### ▲ 排気量についてのご注意 ▲

当製品を取り付けると排気量が126ccとなりますので原付2種の登録は出来ませんのでご注意下さい。(レース専用部品に付き、一般公道走行は出来ません。)

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。当製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。取り付けの際には、別紙記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックスおよび、エアクリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れがあります。

**⚠ 注意** この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

**⚠ 警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

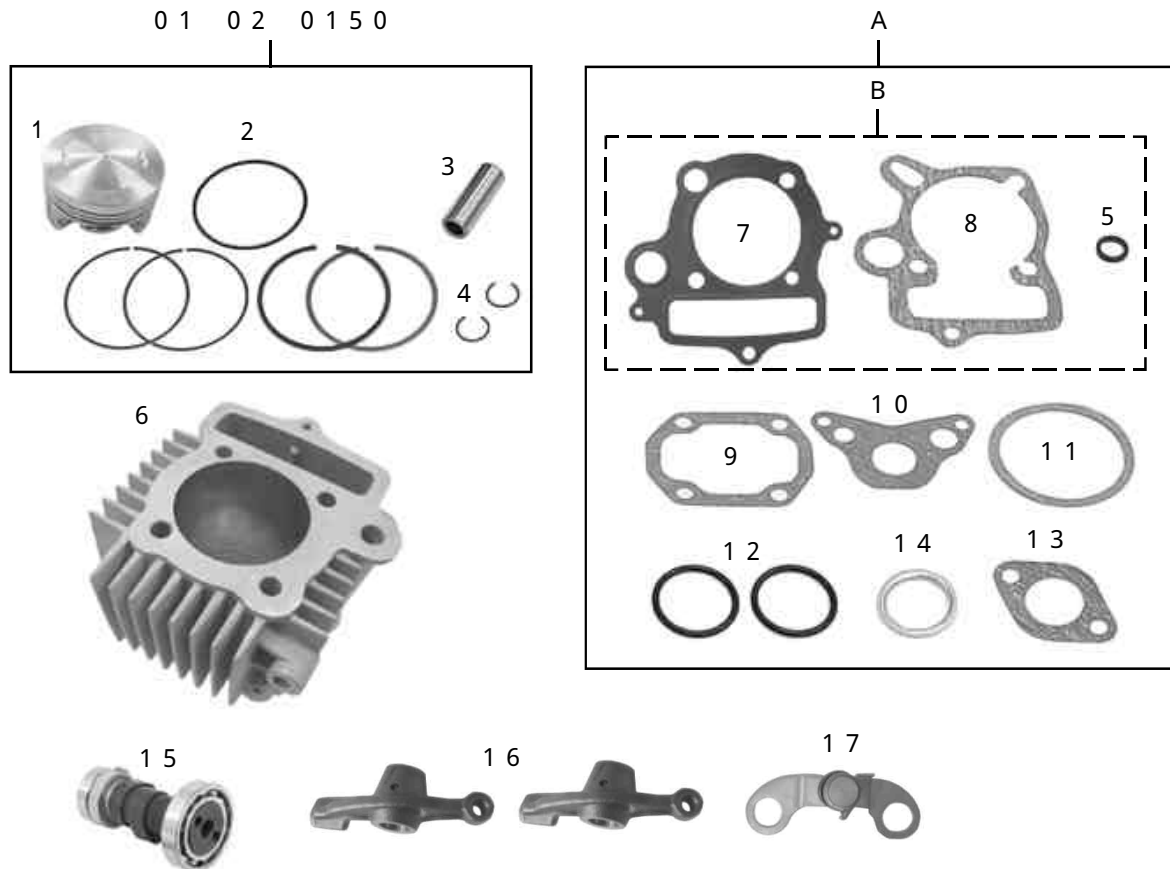
- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不十分な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行ってください。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

## キット内容

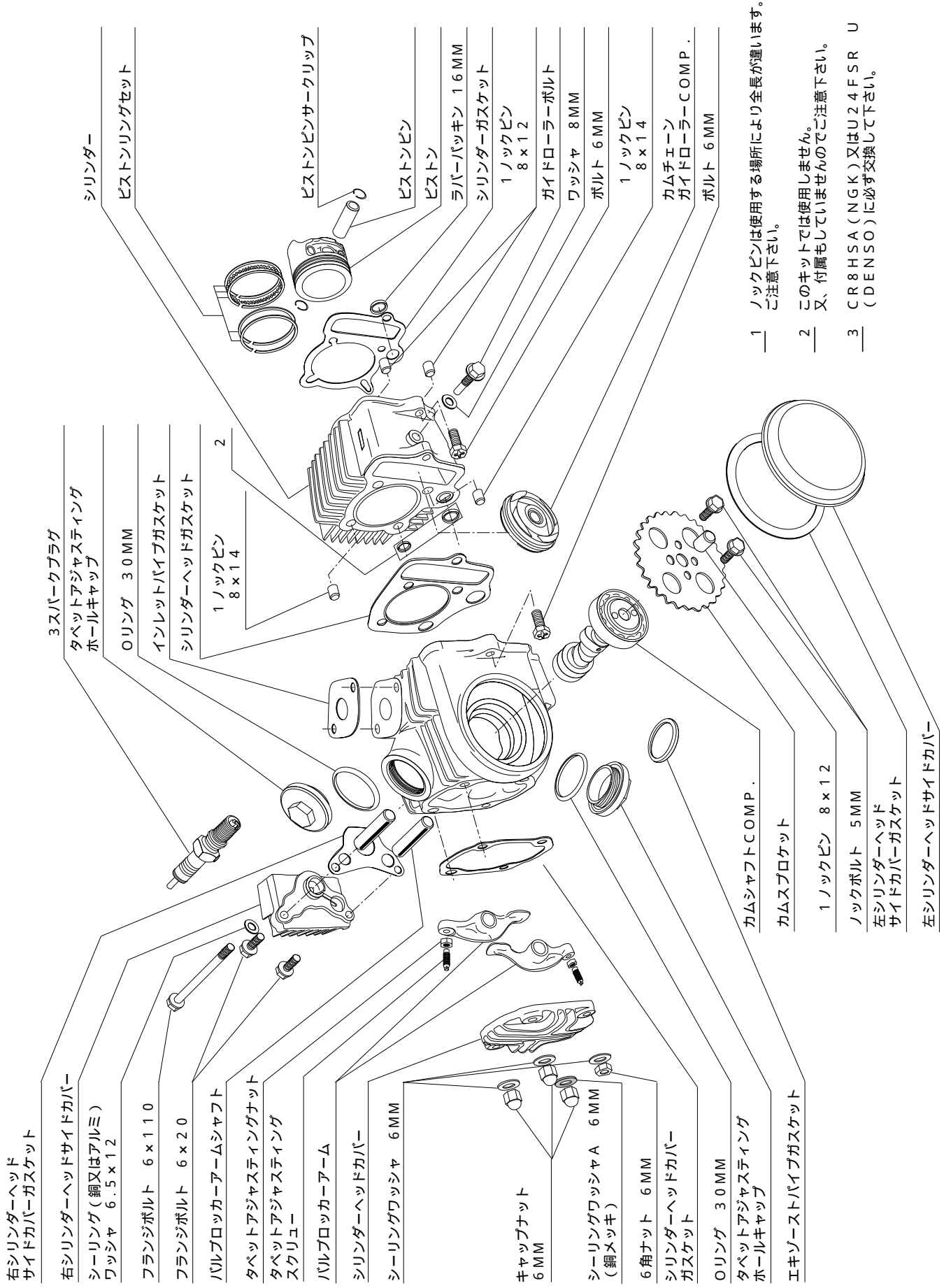


番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1		
2	ピストンリングセット	1	13011-CA7-T00	1
3	ピストンピン 13X36	1	13111-GEF-T01	1
4	ピストンピンサークリップ	2	00-01-0003	6
5	ラバーパッキン 16	1	00-01-0066	2
6	シリンダー	1	01 01 0225	1
7	シリンダーヘッドガスケット	1	000-13-089	1
8	シリンダーガスケット	1	00-01-0067	2
9	ヘッドカバーガスケット	1	00-01-0156	2
10	R.ヘッドサイドカバーガスケット	1	00-01-0157	2
11	L.ヘッドサイドカバーガスケット	1	00-01-0158	2
12	タペットキャップOリング	2	00-01-0034	4
13	インレットパイプガスケット	1	00-03-0009	3
14	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064	2
15	カムシャフト	1	01-08-0015D	1
16	ロッカーアーム	2	00 01 1024	1
17	ストッパープレート	1	00 01 0076	1

A	ガスケット Aセット	01-13-0614
B	ガスケット Bセット	01-13-0606

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

# 各部品名称



- 右シリンダーヘッド  
サイドカバーガスケット
- 右シリンダーヘッドサイドカバー
- シーリング (銅又はアルミ)  
ワッシャ 6.5 x 1.2
- フランジボルト 6 x 1.10
- フランジボルト 6 x 2.0
- バルブロッカーアームシャフト
- タペットアジャスティングナット
- タペットアジャスティング  
スクリュウ
- バルブロッカーアーム
- シリンダーヘッドカバー
- シーリングワッシャ 6 MM
- キャップナット  
6 MM
- シーリングワッシャ A 6 MM  
(銅メッキ)
- 六角ナット 6 MM
- シリンダーヘッドカバー  
ガスケット
- オリング 30 MM
- タペットアジャスティング  
ホールキャップ
- エキゾーストパイプガスケット
- 3 スパークプラグ
- タペットアジャスティング  
ホールキャップ
- オリング 30 MM
- インレットパイプガスケット
- シリンダーヘッドガスケット
- 1 ノックピン  
8 x 1.4
- 2
- 3 ノックピン  
8 x 1.2
- ガイドローラーボルト
- ワッシャ 8 MM
- ボルト 6 MM
- 1 ノックピン  
8 x 1.4
- カムチェーン  
ガイドローラーCOMP.
- ボルト 6 MM
- シリンダー
- ピストンリングセット
- ピストンピンサークリップ
- ピストンピン
- ピストン
- ラバーパッキン 16 MM
- シリンダーガスケット
- 1 ノックピン  
8 x 1.2
- カムシャフトCOMP.
- カムプロケット
- 1 ノックピン 8 x 1.2
- ノックボルト 5 MM
- 左シリンダーヘッド  
サイドカバーガスケット
- 左シリンダーヘッドサイドカバー

- 1 ノックピンは使用する場所により全長が異なります。  
ご注意ください。
- 2 このキットでは使用しません。  
又、付属もしていませんのでご注意ください。
- 3 CR8HSA (NGK) 又はU24FSR U  
(DENSO) に必ず交換して下さい。

## ～ 取 り 付 け 要 領 ～

水平な場所でセンタースタンドで車両を確実に支えます。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。フューエルコックをOFFにします。

ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにして下さい。

取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所を使用するのかわかるように保管して下さい。

### キャブレターの取り外し

- ・キャブレターのドレンコックを開きフロートチャンバーからガソリンを受け皿に抜き取り、フューエルチューブをキャブレターから取り外す。



- ・マニホールドの2本のボルトを取り外し、エアクリーナーコネクティングチューブのバンドを緩める。



- ・スロットルケーブルは外さずにキャブレターをインレットパイプごとエアクリーナーコネクティングチューブから取り外し、ハンドル等に引っ掛けておく。

### マフラーの取り外し

- ・シリンダーヘッド側2個のナットとリアアクスルのナット及びワッシャ2枚を外し、ノーマルマフラーをステップとエンジンの間から抜くようにして取り外す。



### カムスプロケットの取り外し

- ・プラグキャップを引っ張って外す。必ずキャップ部分を持って引っ張る事。



- ・スパークプラグを取り外す。



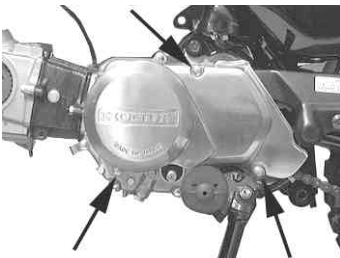
- ・タペットキャップ2個を取り外す。



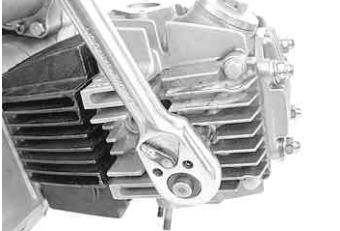
- ・シフトペダルのボルトを外し、シフトペダルを取り外す。



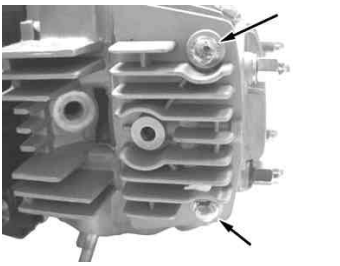
- ・ボルト3本を取り外し、L クランクケースカバーを取り外す。



- ・シリンダーヘッドR. サイドカバー中央のボルトを外し、シリンダーヘッドL. サイドカバーを外す。ボルトを外しても外れない場合はボルトを2～3回転ねじ込んだ後、6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたきと外れる。



- ・2本のボルトを緩め、シリンダーヘッドR. サイドカバーを取り外す。かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。



- ・クランクシャフトを反時計方向に回し、カムスプロケットの〇マークをシリンダーヘッドの切り欠きに合わせる。



- ・フライホイールを保持してカムスプロケットのボルト2本を取り外し、カムスプロケットを取り出す。

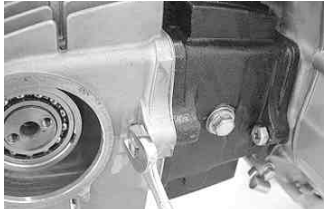


- ・カムシャフトにはまっているロックピンは再使用するので取り外しておく。

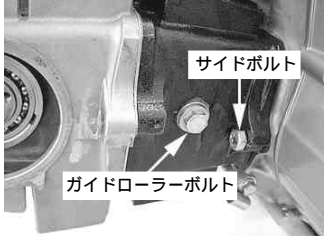


### シリンダーヘッドの取り外し

- ・シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。



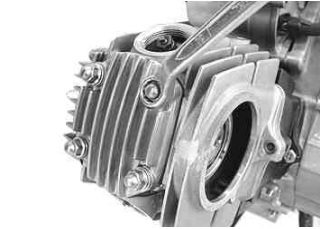
- ・ガイドローラーボルトと、サイドボルトを緩めておく。



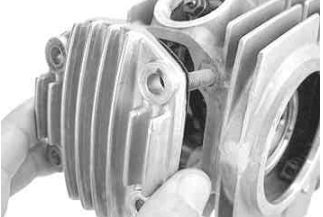
サイドボルト

ガイドローラーボルト

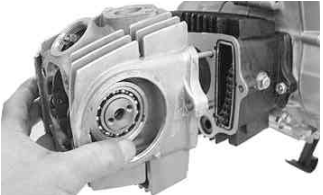
・シリンダーヘッドを止めているナット4個を対角に緩めて取り外し、ワッシャ4枚を取り外す。



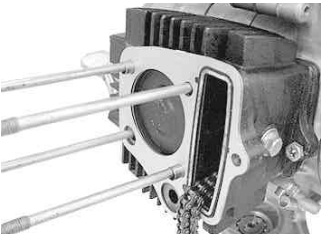
・ヘッドカバーを取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



・シリンダーヘッドを取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーヘッドを軽くたたき、取り外す。)



・ロックピン2個は、再使用するので取り外しておく。

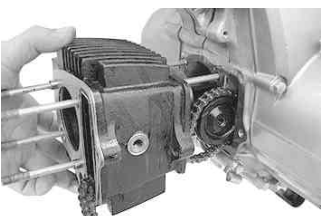


### シリンダー、ピストンの取り外し

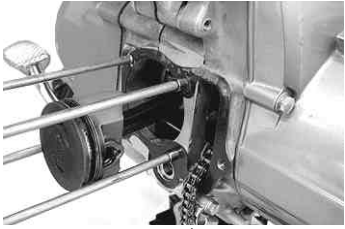
・緩めておいたガイドローラーボルト/シーリングワッシャとサイドボルトを取り外す。



・シリンダーを取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。)途中でガイドローラーが出てくるので、取っておく。



・シリンダーガスケット、ラバーパッキン、ロックピン2個を取り外す。ロックピン2個は、再使用するので取り外しておく。



・クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込む。



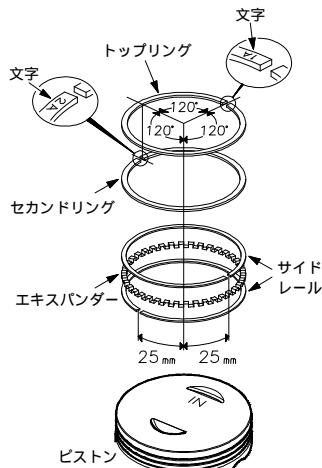
・クランクケースにシリンダーガスケットがこびり付いている場合はスクレイパーにてきれいに剥がす。  
・ピストンピンサークリップの片側を取り外し、ピストンピンを外してピストンを取り外す。



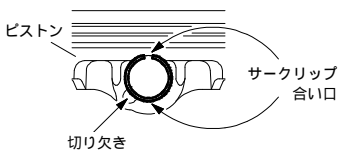
ピストンピンサークリップ

### ピストンの取り付け

・ピストンリング溝をエアブローし、ピストンリングを取り付ける。  
トップリングには“1A”、セカンドリングには“2A”の文字が入っている。共に文字面を上に向け、取り付け。  
ピストン及びピストンリングを傷つけない、破損させない事。  
取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。  
リングの合口は、図のように120度間隔で取り付ける事。



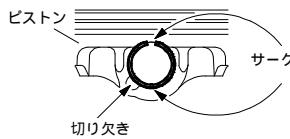
・片側のピストンピン穴のサークリップ溝に付属のピストンピンサークリップをきっちりはめ込む。この時、サークリップの合口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付け。



・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布し、ピストンピンにモリブデングリスを塗布し、ピストン頭部にある“IN”の文字をインテーク側に向けピストンピンを取り付ける。

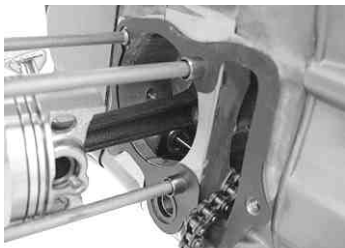


・もう片側のピストンピンサークリップ溝に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。この時、サークリップの合口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付け。

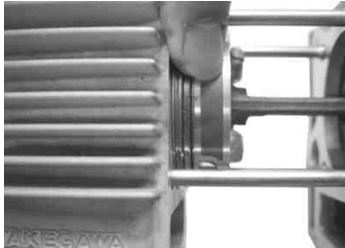


### シリンダーの取り付け

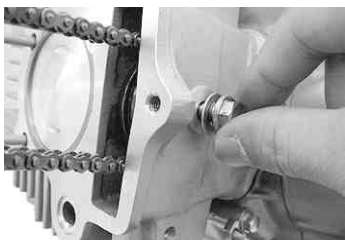
・クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃し、クランクケースにロックピン2個とキット内の新品のシリンダーガスケットとラバーパッキンを取り付ける。



・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



・ガイドローラーをシリンダーの取り付け穴に合わせ、ガイドローラーボルト/シーリングワッシャを仮止めしておく。サイドボルトを仮止めしておく。

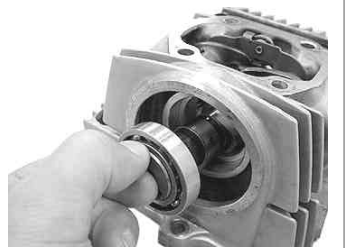


### カムシャフトの交換

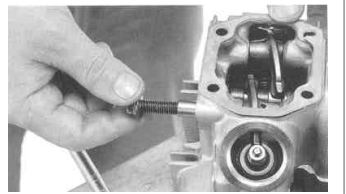
・インテーク、エキゾースト両側のロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューと共に外す。



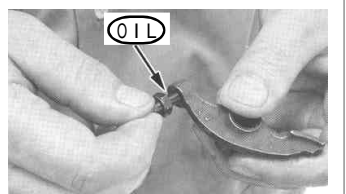
・カムシャフトにカムプロケットボルトを取り付けて引っ張るか、プラスチックハンマーでシリンダーヘッドを軽くたたき、カムシャフトを取り外す。  
無理に引っ張らない事。



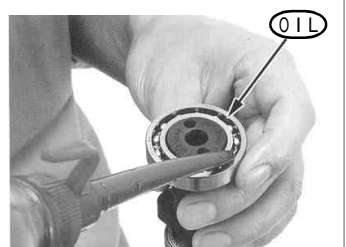
・ロッカーアームシャフトを取り外す。



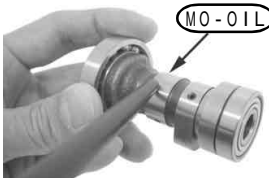
・キット内のロッカーアームと、取り外したアジャストボルトにエンジンオイルを塗布し、取り付け。



・専用のカムシャフトの両端のベアリングにエンジンオイルを塗布する。



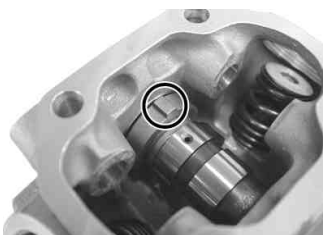
・カム山にモリブデン溶液を塗布する。



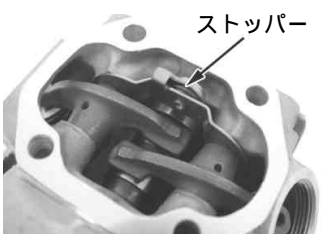
・シリンダーヘッドにカムシャフトをセットする。



デコンプカムのストッパー部は燃焼室側に向けておく。

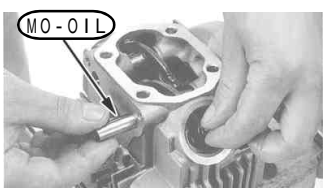


・シリンダーヘッドにキット内のストッパープレートのストッパー部をシリンダーヘッド右側に向け、ロッカーアームと共にセットする。



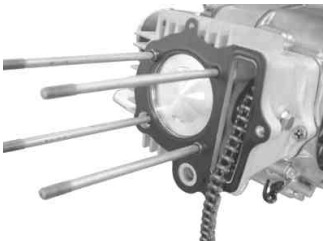
ストッパー

・ロッカーアームシャフトにモリブデン溶液を塗布し、ロッカーアームシャフトのネジ部を外側に向け、ロッカーアームとストッパープレートの穴位置を合わせ、ロッカーアームシャフトを取り付ける。

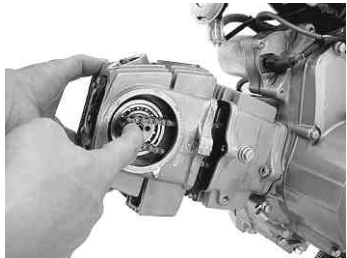


シリンダーヘッドの取り付け

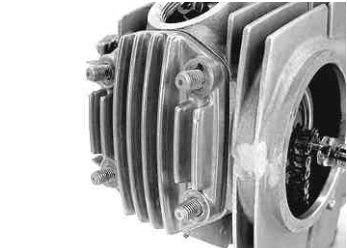
・シリンダー上面を清掃する。ノックピン、キット内のシリンダーヘッドガスケットを取り付ける。



・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。

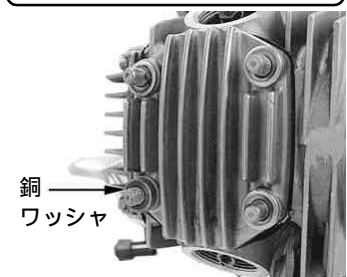


・ヘッドカバーガスケットとヘッドカバーを取り付ける。ヘッドカバーは矢印が下を向くように注意して取り付ける事。

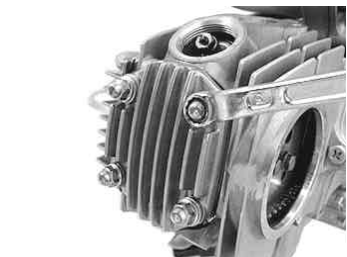


・ヘッドカバーのワッシャを位置に注意して取り付け、ヘッドナットを対角に数回に分けて均等に締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

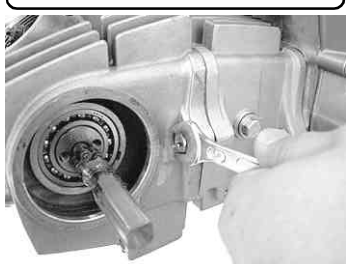


銅ワッシャ



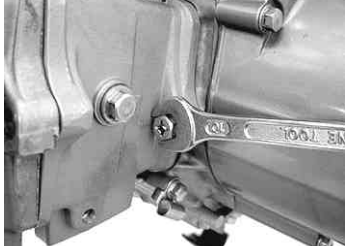
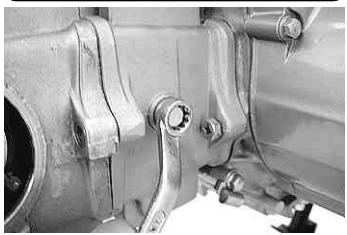
・シリンダーヘッドのサイドボルトを規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



・仮止めしていたシリンダーのガイドローラーボルトとサイドボルトを規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



カムスプロケットの取り付け

・オイルフィルボルト/シーリングワッシャを取り外す。



少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取って下さい。

・カムシャフトにノックピンを取り付ける。



・フライホイールの" T "マークがクランクケースの切り欠き部と合っているか確認し、カムスプロケットの" "マークがシリンダーヘッドの切り欠きと合うようにカムスプロケットをカムチェーンに付け、カムシャフトに取り付ける。



切り欠き

F T



切り欠き

Oの刻印

・カムスプロケットのボルト2本を取り付け、フライホイールを保持して規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：9 N・m (0.9 kgf・m)



・クランクシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの" T "マークをクランクケースの切り欠き部に合わせ、カムスプロケットの" "マークがシリンダーヘッドの切り欠きと合うことを確認する。



切り欠き

F T

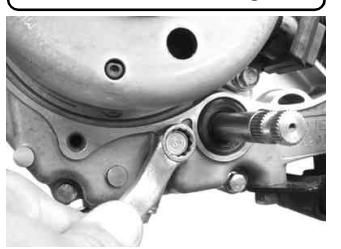


切り欠き

Oの刻印

・ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィルボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)





### バルブクリアランスの調整

・フライホイールの“T”マークとカムプロケットの“ ”マークがそれぞれの切り欠き部と合っているが確認する。  
クランクシャフトは時計方向に回さないこと。デコンプが作動し、バルブクリアランスの調整が出来ません。

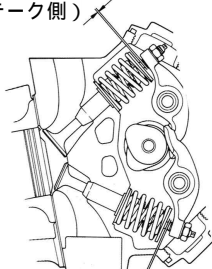
・アジャストスクリューとバルブステムの間にシクネスゲージを差し込み、クリアランスの調整を行う。アジャストスクリューを保持し、アジャストナットを規定トルクにて締め付ける。

バルブクリアランス:

I N、E X共に0.05mm

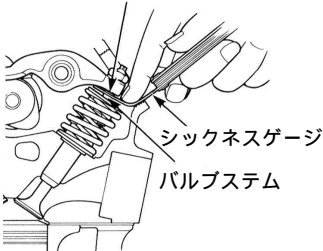
△注意: 必ず規定トルクを守る事。  
アジャストナット  
: 9N・m (0.9kgf・m)

### バルブクリアランス (インテーク側)



### バルブクリアランス (エキゾースト側)

アジャストスクリュー

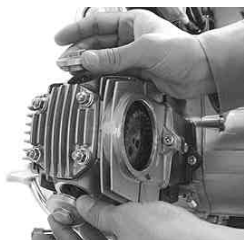


シクネスゲージ  
バルブシステム



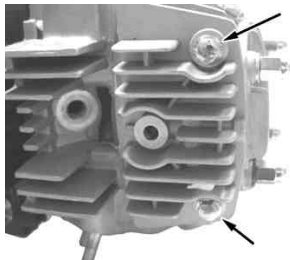
・クランクシャフトを反時計方向に2回転し、再度“T”マークと“ ”マークを合わせる。バルブクリアランスが変わっていないか確認する。変わっている場合は再度調整し、合うまでこの作業を繰り返す。

・タペットキャップ2個を取り付ける。



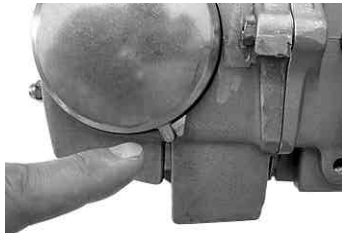
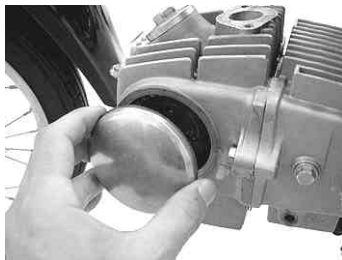
・ガスケットと共にシリンダーヘッドR. サイドカバーを取り付け、2本のボルトを規定トルクにて締め付ける。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。  
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)



・ガスケットと共にシリンダーヘッドL. サイドカバーを取り付け、回り止めを合わせる。シリンダーヘッドR. サイドカバー中央のボルトを規定トルクにて締め付ける。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。  
トルク: 12N・m (1.2kgf・m)



・スパークプラグを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。  
トルク: 11N・m (1.1kgf・m)

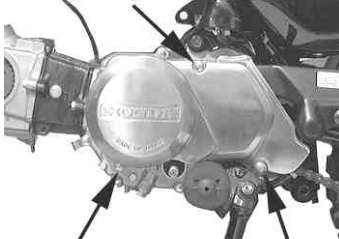


・プラグキャップを取り付ける。



・L. クランクケースカバーをボルト3本にて取り付ける。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。  
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)



・チェンジベダルを取り付ける。

△注意: 必ず規定トルクを守る事。  
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)



### マフラーの取り付け

・ノーマルマフラーをステップとエンジン間を通して取り付ける。  
・シリンダーヘッド側2個のナットとリアアクスルのナット1個とワッシャ2枚を仮止めした後、規定トルクにて各部を締め付ける。



### キャブレターの取り付け

・エアクリーナーコネクティングチューブにキャブレターを差し込み、バンドを締め付ける。マニホールドを2本のボルトにてシリンダーヘッドに取り付ける。



・キャブレターのドレンコックを締め、フューエルチューブをキャブレターに差し込む。

### エンジン始動

・締め付けた全てのボルト類に緩みがないかチェックする。  
・フューエルコックをONにしてエンジンを始動し、暖気運転させる。この間オイル漏れなどの異常がないか点検する。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>